



MITSUBA 工場見学の巻!!

【活動データ】

場所：(株)ミツバ 桐生新里工場 日時：2018年9月17日(月・祝) 対象学年：未来創生塾1年

9月17日、地域の優良企業のひとつ、株式会社ミツバ様の工場見学が行われた。ミツバ新里工場は、1976年に開所され、現在800人の従業員さんが働いている。1～6号棟の生産工場では、主に自動車やオートバイ、介護ベッド用のモーターとその周辺部品の組立を行っている。車の様々なところで使われるモーターは、全部合わせると一ヶ月で150万個も生産しているそうだ。つまり、一日7万5千個…。そんなすごい会社である。

一通りの説明の後、いよいよ工場見学だ。工場でのメモは、シャープペンは、禁止。芯が折れて製品に入ると不良品になってしまうからだ。そして工場は、きれいで、ところ狭しと、しかし整然と機械がたくさん並んで、目まぐるしく製品を作っていた。所々に「からくり」と呼ばれる機械が並んでいて、電気を使わず製品を動かしたり並べたりしてくれる。これは、社員のみなさんが考えて作り、アイデアコンテストも開催されるそうだ。また、2011年の震災の後、防災にも力を入れていて、耐震補強された機械があちこちにある。そこには、「なまちゃんマーク」というナマズのイラストが描かれたマークが付いている。次は、実験室の見学だ。無響棟という音が吸収されて響かない部屋で、モーターの聴き比べ実験（不良品を探す）をした。半無響音棟では、音の伝わりの実験、その他、単極モーターの組み立てや、無線機で豆電球をつける実験をした。みんな不思議そうに興味津々に取り組んでいた。そして、お楽しみの電動カートとパーソナルモビリティの試乗会。塾生も大人も何度も繰り返し、おもしろがって乗っていた。最後は、再びワイパーモーターやパワーウィンドウの組立工場をめぐり、危険体験コーナーや、大きなプレス機械の並ぶ工場を見学して終了だ。びっくり、ドッキリで、楽しい工場見学だった。途中、塾生と大人で大勢にもかかわらず、美味しい昼食もごちそうになった。再び会議室に帰ってきて塾生からの感想や質問だ。「細かいところに注意して作っている。」、「モーターの開発やラインを作る期間は、どのくらい。」「なんでミツバというの。」「なまちゃんやロボットは、何台。」「機械は、いつ止まる。」など活発な質疑応答が行われた。株式会社ミツバのみなさまありがとうございました。



質問をする子供

感想（驚いたこと、わかったことなど）：

なまちゃん探しやEVカートに乗ったのが楽しかった。なまちゃんは全部で79個見つけられた。EVカート家に一台ほしい。(小学4年萩野さん)

ミツバが海外にたくさんあることや、機械の数の多さに驚いた。働いている人たちの一生懸命さが伝わってきた。(小学6年宮下さん)